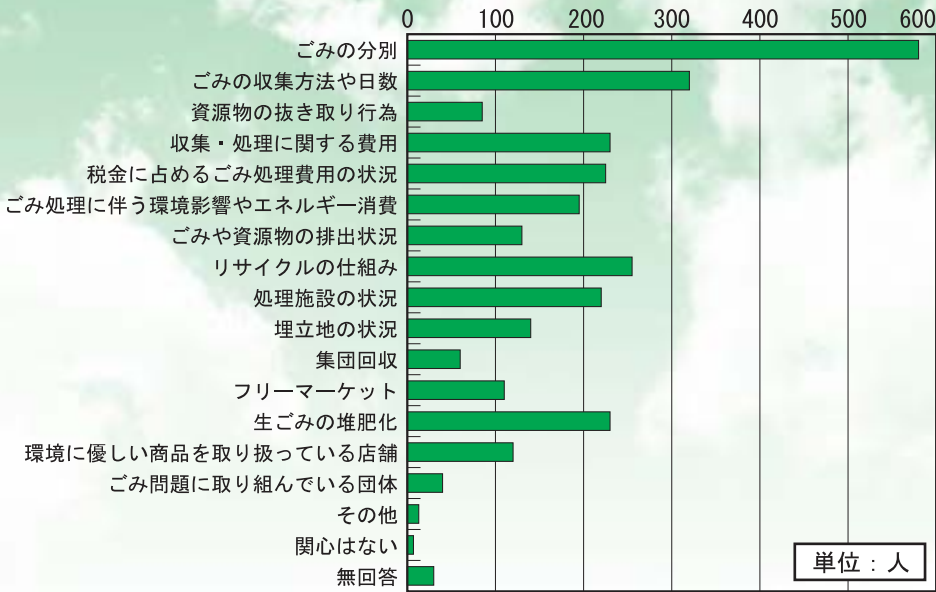


ごみ問題の関心について

日頃、ごみ問題について、どのようなものに関心があるかお聞きしました。(複数回答)

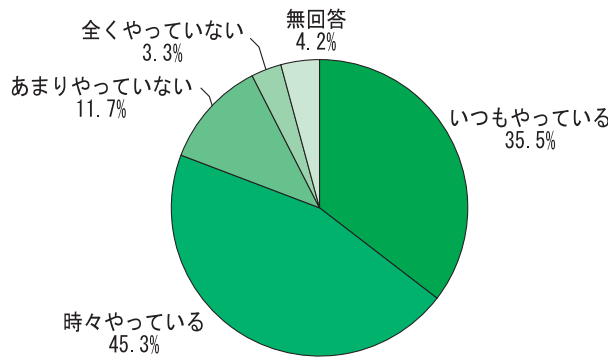


最も関心があるのは、『ごみの分別』についてで、回答者の約7割が選択しています。次いで、『ごみ収集方法や日数』、『リサイクルの仕組み』が選ばれています。

ごみ減量やリサイクル

日頃、ごみ減量やリサイクルの取り組みを行っているかお聞きしました。

日ごろからごみ減量やリサイクルの取り組みを行っていますか。

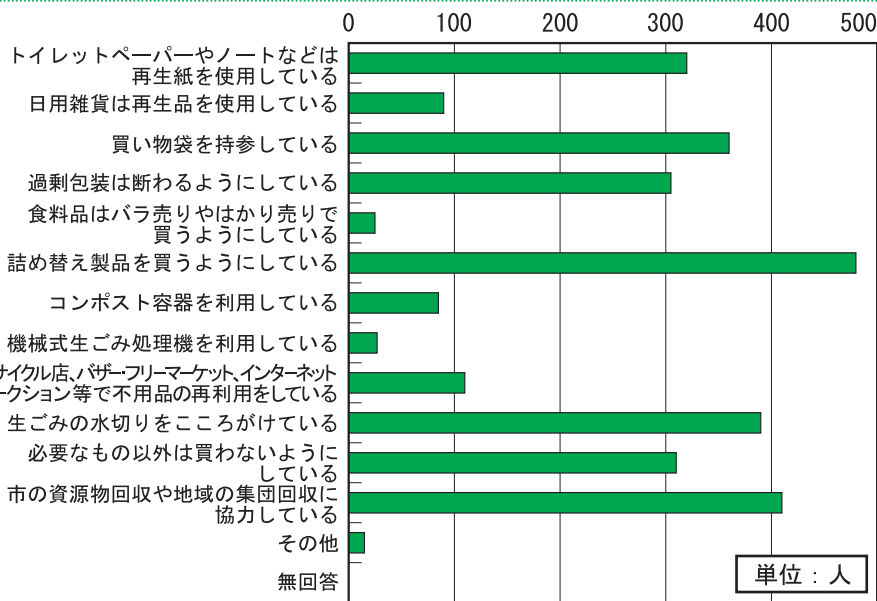


『いつもやっている』と『時々やっている』を合わせると8割を超える方が取り組まれていることが分かります。

年齢別で見ると20歳代で6割、30～60歳台までが8割程度が取り組んでいると回答しています。また、職業別では、農林漁業・会社員・学生が7割程度、自営業が8割、公務員・主婦が9割程度が取り組んでいると回答しています。

ごみ減量やリサイクルの具体的な取り組みについて

具体的にどのようなことに取り組んでいるかお聞きしました。(複数回答)



『ごみ減量やリサイクルの具体的な取り組みとして、詰め替え製品を買うようにしている』が最も多く、次いで、『資源物回収や地域の集団回収に協力している』、『生ごみの水切りをこころがけている』、『買い物袋を持参している』の順となっています。

ごみ減量やリサイクルについて様々に取り組まれていることがわかります。市としても広報紙等により更なる啓発を図っていきます。市民の皆様がごみ減量やリサイクルに関心を持ち、実践されますようお願いいたします。